

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-H2

New Features Guide

Version 5.00






本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種ของファームウェア更新情報をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

変更項目

X-H2 Version 5.00 では以下の機能が追加または変更されています。
最新の使用説明書は、下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>

No.	概要	X-H2 	詳細 	Ver.
1	コマンドダイヤル設定が P、S、A、M の撮影モードごとに設定できるようになりました。コマンドダイヤルの設定にはフロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3、リアコマンドダイヤルが設定できるようになりました。また、ファンクションボタンに割り当てられる機能にフロントコマンドダイヤル切替が追加されました。	10 300 307	1 26 30	3.00
2	撮影時の表示画面 (EVF/LCD) に Frame.io の情報が表示されるようになりました。	14 16	2 3	2.00
3	撮影時の表示画面 (EVF/LCD) に AirGlu BT 接続アイコンが表示されるようになりました。	14 16	2 3	3.10
4	 表示設定 > 画面のカスタマイズの画像転送予約が通信状況に変更され、画像転送予約の表示と接続機器の情報表示をまとめてオン/オフできるようになりました。	23	4	1.20
5	初期設定時に自動電源 OFF 温度の設定画面が表示されるようになりました。	52	5	4.00
6	動画撮影時に、撮影中であることを示す枠が画面に表示されるようになりました。これにともない、静止画撮影メニューの  動画設定と動画撮影メニューの  動画設定に  REC 枠表示が追加されました。	64 183 197	7 9	4.00

No.	概要	X-H2 📖	詳細 📖	Ver.
7	静止画撮影メニューの 📷 画質設定 > フィルムシミュレーション と動画撮影メニューの 📷 画質設定 > 📷 フィルムシミュレーション に 📷 REALA ACE が追加されました。	132 199	10	5.00
8	📷 タイムコード設定 に 📷 タイムコード同期設定 が追加され、外部機器とタイムコードを同期することができるようになりました。これにともない、撮影時や再生時のタイムコードのアイコンが変更されました。	14 16 213 214 216	2 3 13 14 16	3.10
9	動画撮影メニューの 📷 動画設定 に 📷 セルフタイマー が追加されました。これにともない、動画撮影時のクイックメニューやファンクションボタン、タッチファンクション、レンズファンクションボタンに 📷 セルフタイマー が割り当てられるようになりました。	186 296 300 304 307 383	12 25 26 28 30 35	4.00
10	📷 フォーカス設定 の 📷 AF モード に 📷 ワイド/トラッキング が追加されました。	204	12	4.00
11	再生時の表示画面 (EVF/LCD) に Frame.io の情報が表示されるようになりました。	216	16	2.00
12	セットアップメニューの 📷 基本設定 に 📷 ファームウェアアップデート が追加され、ファームウェアの更新方法が変更されました。	250 363	16 17	4.00
13	セットアップメニューの 📷 音設定 に 📷 REC 開始終了音量 が追加されました。	253	20	4.00
14	コマンドダイヤルで ISO 感度の変更ができるようになりました。	272	21	3.00
15	📷 操作ボタン・ダイヤル設定 > 📷 ISO ボタン設定 の 📷 スマートフォン転送予約 の内容が変更されました。また、 📷 選択 & スマートフォン転送予約 と 📷 Frame.io 転送予約 が追加されました。	277	23	2.00

No.	概要	X-H2 📖	詳細 📖	Ver.
16	クイックメニューに割り当てられるメニューに ATOMOS AirGlu BT と接続 が追加されました。	295 296	24 25	3.10
17	ファンクションボタンに割り当てられる機能に ATOMOS AirGlu BT と接続 が追加されました。	300	26	3.10
18	タッチファンクションに割り当てられる機能に ATOMOS AirGlu BT と接続 が追加されました。	304	28	3.10
19	レンズファンクションボタンに割り当てられる機能に ATOMOS AirGlu BT と接続 が追加されました。	307	30	3.10
20	別売アクセサリーに三脚グリップ TG-BT1 が追加されました。	340	32	1.20
21	撮影したファイルを Frame.io に転送できるようになりました。	345	35	2.00



Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

追加 / 変更内容

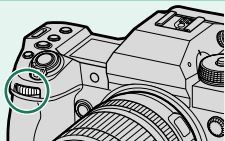
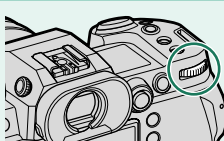
追加または変更になった内容は以下のとおりです。


X-H2 使用説明書：📖 10

Ver. 3.00

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルの回転で、以下の操作ができます。

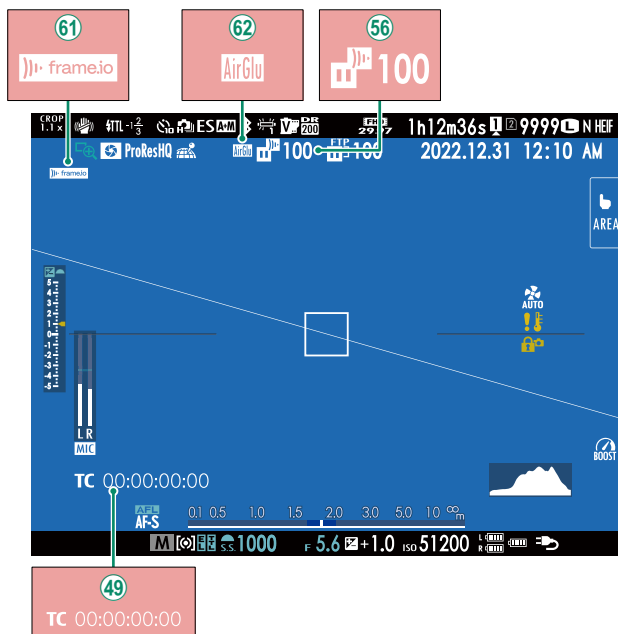
	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
		
撮影時 ^{*1}	P プログラムシフト	
	S シャッタースピードの変更	露出補正
	A 絞り値の変更 ^{*2}	
	M 絞り値の変更 ^{*2}	シャッタースピードの変更
	FILTER プログラムシフト	露出補正
メニュー操作時	メニュータブ、ページの切り替え	メニュー項目の選択
Qメニュー操作時	クイックメニューの項目の選択	クイックメニューの設定値を変更
再生時	前後の画像を表示	<ul style="list-style-type: none">画像を再生ズーム画像をマルチ再生

*1  操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定でフロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3、リアコマンドダイヤルの設定を変更可能

*2 絞りリングに **A** ポジションがあるレンズで、**A** ポジションに設定されているときや、絞りリングなしレンズのとき

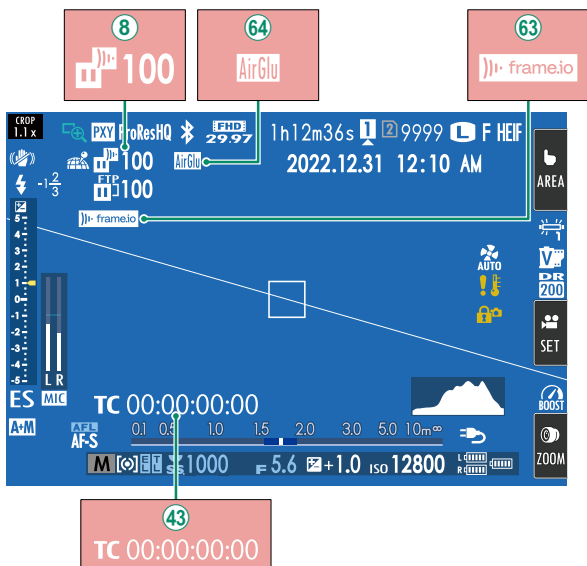
 コマンドダイヤルを回す方向は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル回転方向で設定できます。

EVF の表示画面



- ④⑨ タイムコードのアイコンが変更されました。
- ⑤⑥ Frame.io へファイルの転送予約をしたときや、ファイルを転送しているときは、Frame.io 画像転送状況のアイコンが表示されます。
- ⑥① カメラと Frame.io の接続状態を示すアイコンが表示されます。
- ⑥② カメラと外部機器の接続状態を示すアイコンが表示されます。

LCD の表示画面



- ⑧ Frame.io へファイルの転送予約をしたときや、ファイルを転送しているときは、Frame.io 画像転送状況のアイコンが表示されます。
- ④③ タイムコードのアイコンが変更されました。
- ⑥③ カメラと Frame.io の接続状態を示すアイコンが表示されます。
- ⑥④ カメラと外部機器の接続状態を示すアイコンが表示されます。

「スタンダード」画面の表示について

3 表示したい項目を選び、MENU/OKボタンを押します。

画面に表示する項目には、が表示されます。が表示されている状態でMENU/OKボタンを押すと、選択が解除されます。

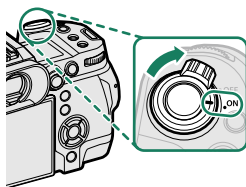
- フレーミングガイド
- AF フレーム
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- ライブビューハイライト警告
- 撮影モード
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- 情報表示背景
- 露出補正表示
- 露出補正ゲージ
- フォーカスモード
- 測光
- シャッター方式
- フラッシュ
- 連写モード
- ブレ防止
- タッチパネルモード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ブーストモード
- 冷却ファン設定
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- 動画モード & 録画時間
- デジタルテレコン
- 通信状況
- マイクレベル
- ガイダンスメッセージ
- バッテリー残量表示
- 画面枠

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

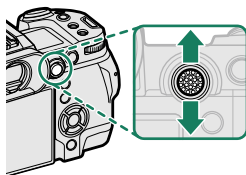
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 地域の設定画面が表示されます。

フォーカスレバーでお住まいの地域とサマータイムの設定をしてから**設定完了**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



 地域を設定しないときは **DISP/BACK** ボタンを押して設定をスキップしてください。

4 日時を設定します。



5 スマートフォンアプリケーションに関する画面が表示されます。

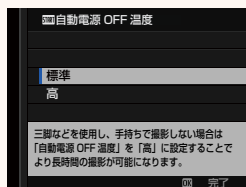
- 画面に表示される QR コードをスマートフォンで読み取ると、スマートフォンアプリケーションをダウンロードできます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、次の画面に進みます。



スマートフォンアプリケーションを使用すると、撮影画像の転送やカメラの操作をワイヤレスで行うことができます。

6 自動電源OFF温度の設定画面が表示されます。

- カメラの温度が上昇したときに自動で電源をオフにする温度を設定できます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



7 メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

! 未使用のメモリーカードや、パーソナルコンピュータやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。



バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

動画の撮影方法

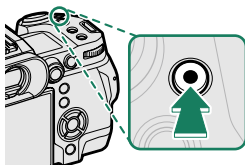
このカメラは **○**（動画撮影）ボタンを押すか、モードダイヤルを **🎥**（動画）に合わせることで動画を撮影することができます。

○（動画撮影）ボタン

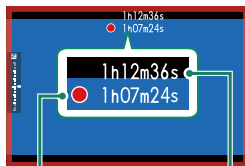
○（動画撮影）ボタンを押すと、静止画撮影時に簡単に動画を撮影することができます。

 フォーカスモードは自動的に**コンティニユアス AF**に変更されます。

1 ○（動画撮影）ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。



- 撮影中は、**●**が表示されます。
- 動画撮影中は画面の外周が赤色で、ハイスピード撮影中は緑色で表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）と撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



動画撮影の撮影時間

動画撮影の残り時間

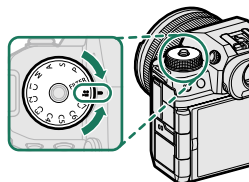
2 もう一度○（動画撮影）ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

📹 (動画)

モードダイヤルを 📹 (動画) に合わせてからシャッターボタンを押すと、様々な設定を反映した動画を撮影することができます。

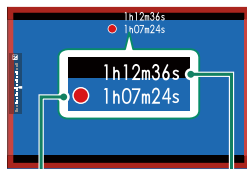
1 モードダイヤルを 📹 (動画) に合わせます。



❗ モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

2 シャッターボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、● が表示されます。
- 動画撮影中は画面の外周が赤色で、ハイスピード撮影中は緑色で表示されます。
- 動画撮影の残り時間 (カウントダウン) と撮影時間 (カウントアップ) が表示されます。



動画撮影の撮影時間

動画撮影の残り時間

3 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗
- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
 - 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
 - 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

- 以下の点に気を付けることで、より長く撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中は±2の範囲で露出補正が可能で、ズームリングがあるレンズを使用している場合は、ズームリングでズーム操作を行えます。
- 動画設定 > REC 枠表示**を **OFF** に設定すると画面の外周の色表示をオフにできます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
 - 感度の変更
 - 次の操作による AF のやり直し
 - シャッターボタンの半押し
 - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
 - タッチパネル操作
 - ヒストグラム**や**電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します。

X-H2 使用説明書：📖 183、197

Ver. 4.00

📹 REC 枠表示

ON にすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。












設定値	
ON	OFF











- 📹 ハイスピード撮影時は緑色の枠が表示されます。

フィルムシミュレーション

👤 フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 ASTIA/ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 クラシッククローム	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 REALA ACE	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
 PRO Neg. Hi	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
 PRO Neg. Std	ニュートラルな階調で画像加工に最適です。肌色の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
 クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 ノスタルジックネガ	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気表現します。
 ETERNA/シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
 ETERNA ブリーチバイパス	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。

設定	説明
 ACROS	<p>質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらにYe、R、Gのフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 ●  ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 ●  ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 モノクロ	<p>モノクロで表現します。さらにYe、R、Gのフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  モノクロ + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 ●  モノクロ + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 ●  モノクロ + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 セピア	<p>セピア調で表現します。</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。 ● この設定はショートカット機能でも設定できます。 ● フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。 https://fujifilm-x.com/products/film-simulation/ 	

👤 セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから録画が開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定値

3 秒

5 秒

10 秒

OFF

👤 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
ワイド/ トラッキング	フォーカスモードが コンティニュアス AF のときにフォーカスレバーを中央に押すか画面をタッチすると、被写体を自動で追尾します。フォーカスモードが シングル AF のときはピントを合わせる被写体をカメラが自動的に選びます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

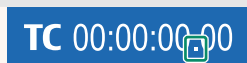
ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウンタと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

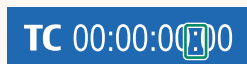
設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



ON



OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

タイムコード同期設定

外部機器とタイムコードを同期するかどうかを設定できます。

ATOMOS AirGlu BT と接続

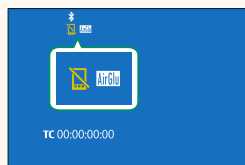
ON にすると、ペアリングされている外部機器と接続してタイムコードを同期します。スマートフォンと同時接続できないため、画面にスマートフォンアイコンが黄色に点灯します。

設定値	
ON	OFF

ペアリング登録

ATOMOS AirGlu BT とカメラをペアリングします。

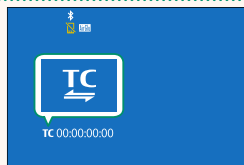
- ATOMOS AirGlu BT と接続すると、画面にアイコンが表示されます。

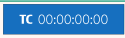
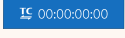
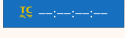
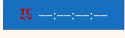


- ATOMOS AirGlu BT とのペアリングを解除するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定 > Bluetooth 機器一覧**で行います。

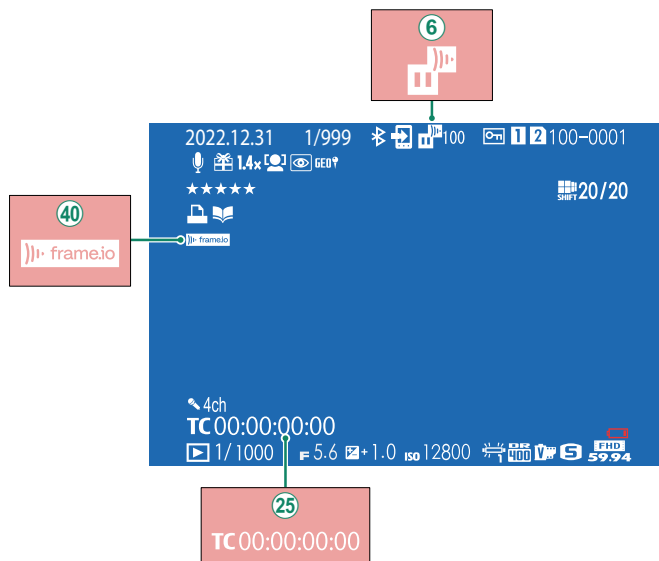
タイムコードの同期状態

タイムコードの同期状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	同期状態
 (白)	タイムコードの同期機能を使用していません。
 (白)	タイムコードを同期しています。
 (黄)	外部機器と切断中、またはタイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。
 (赤)	フレームレートの設定が異なるため、タイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。

再生時の表示画面




- ⑥ Frame.io へファイルの転送予約をしたときや、ファイルを転送しているときは、Frame.io 画像転送状況のアイコンが表示されます。
- ②⑤ タイムコードのアイコンが変更されました。
- ④⑩ カメラと Frame.io の接続状態を示すアイコンが表示されます。

ファームウェアアップデート

メモリーカードに保存したファームウェアを使用して、カメラやレンズなどのファームウェアの更新ができます。

ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。

 最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

カメラ起動時に更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**DISP/BACK** ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、ファームウェアを更新できます。更新が終わったらカメラの電源を一度オフにしてください。

セットアップメニューから更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**基本設定 > ファームウェアアップデート**を選んでファームウェアを更新できます。

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する（手動更新）

スマートフォンアプリケーションを使用している場合は、スマートフォンアプリケーションからファームウェアを更新できます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

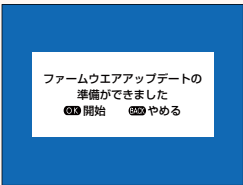
<https://fujifilm-dsc.com/>

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する（自動更新）

FUJIFILM XApp Ver.2.0.0 以降を使用している場合は最新のファームウェアが自動的にスマートフォンからカメラにダウンロードされます。

1 カメラ使用時、更新の準備ができている場合は確認画面が表示されます。

開始を選びます。

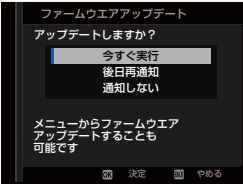


ファームウェアアップデートの
準備ができました
開始 やめる



やめるを選ぶと、翌日以降カメラの電源をオンにしたときに確認画面が再度表示されます。

2 選択画面が表示されたら今すぐ実行を選びます。



ファームウェアアップデート
アップデートしますか？

今すぐ実行

後日再通知

通知しない

メニューからファームウェア
アップデートすることも
可能です

決定 やめる



- 後日再通知を選ぶと、3 日後に確認画面が再度表示されます。
- 通知しないを選ぶと、確認画面は表示されません。

3 実行を選びます。

4 画面の指示にしたがってファームウェアを更新します。

5 更新完了の画面が表示されたらカメラの電源をオフにします。

- ❗ ファームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファームウェアの更新中はEVFは表示されません。液晶モニターの表示をご覧ください。
- ファームウェアの更新にかかる時間は、ファームウェアの容量によって変わります。最大で約10分かかる場合があります。
- ファームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/error-message/>

ファームウェアバージョンの確認方法

DISP/BACK ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、バージョン情報が表示されます。

- ❗ バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認できませんので、ご注意ください。

- 🔍 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。


👤 REC 開始終了音量

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

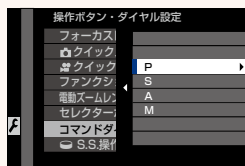
設定	説明
🔊	音量「大」に設定します。
🔊	音量「中」に設定します。
🔊	音量「小」に設定します。
🔊OFF	消音に設定します。

コマンドダイヤル設定

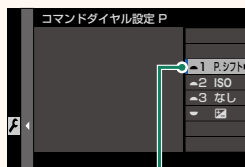
撮影モードごとにフロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

1  操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定を選びます。

2 撮影モードを選びます。




3 設定するコマンドダイヤルを選びます。



フロントコマンドダイヤル 1

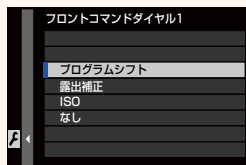
サブメニュー

▲1	フロントコマンドダイヤル 1
▲2	フロントコマンドダイヤル 2
▲3	フロントコマンドダイヤル 3
▼	リアコマンドダイヤル

 フロントコマンドダイヤルの設定はフロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 にそれぞれ保存できます。フロントコマンドダイヤル切替を割り当てたファンクションボタンを押すと、切り替えることができます。

4 割り当てる機能を選びます。

割り当てられる機能は撮影モードによって異なります。



撮影モード	機能
P	<ul style="list-style-type: none">• プログラムシフト• 露出補正
S	<ul style="list-style-type: none">• S.S.• 露出補正
A	<ul style="list-style-type: none">• 絞り• 露出補正
M	<ul style="list-style-type: none">• S.S.• 絞り• 露出補正



- 絞りは絞りリングに **A** ポジションがあるレンズで、**A** ポジションに設定されているときや、絞りリングなしレンズのときのみ有効です。
- 撮影モードが **M** の場合、**露出補正**は ISO 感度が AUTO のときのみ有効です。





▶ ISO ボタン設定

再生モードで **ISO** ボタンを押したときの動作を設定できます。

設定	説明
☐ スマートフォン 転送予約	表示している画像を転送予約します。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
🎵 選択 & スマート フォン転送予約	画像選択画面を表示します。ペアリングしているスマートフォンに転送する画像を選んで転送予約できます。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/ スマートフォン設定 の画面が表示されます。
📁 FTP 転送予約	表示している画像を FTP サーバーに転送予約します。
📁 FTP 優先転送 予約	表示している画像を FTP サーバーに優先転送予約します。すでに転送予約中の画像がある場合でも先に転送されます。
📁 Frame.io 転送予約	表示している画像を Frame.io に転送予約します。
📶 ワイヤレス通信	ワイヤレス通信を行います。

📁 FTP 転送予約と 📁 FTP 優先転送予約、📁 Frame.io 転送予約は別売のファイルトランスミッター FT-XH が装着されているときのみ使用できます。

割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- フォーカスモード
- AF モード
- AF-C カスタム設定
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードブースト
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

割り当て可能なメニュー（動画）








- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 📷 ホワイトバランス
- 📷 ホワイトバランス色温度（🔑 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
- 🗿 顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
- 動画感度
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
- 📷 セルフタイマー
- 動画フォーカスモード
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
- 📷 プレ防止モード
- 📷 プレ防止モードブースト
- シャッタースピード
- 絞り（動画専用操作モード 📷📷）
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**📷 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- M モード時  (押下切替)
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- フォーカスモード
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
-  デジタルテレコン /  デジタルズーム
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画リリース
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 冷却ファン設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- VIEW MODE 設定
- EVF/LCD 表示切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- フロントコマンドダイヤル切替
- コマンドダイヤルロック
- ズーム / フォーカスコントロールリング
- 定速ズーム (T)
- 定速ズーム (W)







- MF 定速フォーカス (N)
- MF 定速フォーカス (F)
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、**📷 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- フォーカスモード
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 ES 
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
-  デジタルテレコン /  デジタルズーム
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 冷却ファン設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- VIEW MODE 設定
- EVF/LCD 表示切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード








- F-Log ビューアシスト
- コマンドダイヤルロック
- ズーム/フォーカスコントロールリング
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。

レンズファンクションボタンの割り当て変更

レンズファンクションボタンの割り当ては、**📷 操作ボタン・ダイヤル設定 > 電動ズームレンズファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- M モード時  (押下切替)
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- フォーカスモード
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- スポーツファインダーモード
- プリ撮影 
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
-  デジタルテレコン /  デジタルズーム
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画リリース
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 冷却ファン設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- VIEW MODE 設定
- EVF/LCD 表示切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- フロントコマンドダイヤル切替
- コマンドダイヤルロック
- ズーム / フォーカスコントロールリング

- 定速ズーム (T)
- 定速ズーム (W)
- **MF** 定速フォーカス (N)
- **MF** 定速フォーカス (F)
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード*
- なし



- **なし**を選ぶと、レンズファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- **定速ズーム (T)** または、**定速ズーム (W)** を割り当てているときは、機能別ロック設定が無効になります。

カメラで使える別売アクセサリー

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリーを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W235：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

デュアルバッテリーチャージャー BC-W235：充電式バッテリー NP-W235 を 2 個同時に充電できます。充電時間は約 200 分（+ 25℃において）です。30W 以上の出力に対応した給電機器を使用することで充電時間が最短約 150 分になります。

アイカップ EC-XH W/EC-XT L/EC-XT M/EC-XT S/EC-GFX：ファインダー接眼部に装着するアイカップです。

リモートリリース RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください（φ 2.5mm 端子）。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

XF シリーズレンズ /XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。

シネマレンズ FUJINON MKX シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用のシネマレンズです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2.0 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

クリップオンフラッシュ EF-X500：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1：EF-X500 用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

クリップオンフラッシュ EF-60：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 60 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、別売ワイヤレスコマンダー EF-W1 をコマンダーとしたリモートフラッシュとしても使用できます。

ワイヤレスコマンダー EF-W1：NAS* 無線通信方式に対応したフラッシュ用ワイヤレスコマンダーです。別売クリップオンフラッシュ EF-60 やニッシンジャパン株式会社の NAS 対応フラッシュと合わせて使用できます。

* NAS はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。

外付けフラッシュ EF-X8：カメラ本体から電力を供給する、コンパクトなクリップオンタイプのフラッシュです。最大ガイドナンバーは約 8 (ISO100・m)、照射角度は 16mm (35mm 判換算で 24mm 相当) です。

クリップオンフラッシュ EF-42：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

縦位置バッテリーグリップ VG-XH

ファイルトランスミッター FT-XH

冷却ファン FAN-001

三脚グリップ TG-BT1 : Bluetoothに対応し、グリップを握ったまま、動画・静止画の撮影や、対応する電動ズームレンズ使用時にズーム操作ができる三脚グリップです。

グリップベルト GB-001 : 本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

カバーキット CVR-XH : X-H2用カバーキットです。シンクローターミナルカバー、ホットシューカバー、ファイルトランスミッター/縦位置グリップ用端子カバー、メモリーカードスロットカバーが入っています。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3 : 撮影した画像を無線LANで送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

Frame.io Camera to Cloud

別売のファイルトランスミッター FT-XH を使用すると、ネットワークを通してカメラから Frame.io のプラットフォームへ静止画や動画を直接転送できます。

Frame.io の使い方は、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/x-h2_connection/

主な仕様**システム****セルフタイマー**

- 静止画 : OFF、2 秒、10 秒
- 動画 : OFF、3 秒、5 秒、10 秒

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

